

着地型観光推進協議会 観光振興功労表彰（特別団体表彰）

平成28年6月27日（月）札幌市で、公益社団法人北海道観光振興機構（以下「機構」という。）から、観光振興功労表彰（特別団体表彰）が授与されました。

観光振興功労表彰は、平成27年度に機構の助成を受けて旅行商品づくりや広域連携による観光客の受入体制整備に取り組んだ39団体の中から、特に優良な取組をおこなった2団体を機構が表彰するもので、和寒町着地型観光推進協議会（奥山 盛会長）の「カボチャ」や「ペポカボチャ」、「和寒越冬キャベツ」などナンバーワン・オンリーワンの食資源を活用した新たな旅行商品づくりの取組が、観光振興に大きく貢献したと評価され表彰を受けました。



水口香代さん 卓球全国大会で準優勝



銀メダルを手にする
水口さん



左が白色の硬式球（40mm）
右がオレンジ色のラージ
ボール（44mm）

平成28年6月30日（木）から7月3日（日）に埼玉県所沢市で開催された第29回全国ラージボール卓球大会 女子シングルス50代Bクラスに、和寒卓球協会（工藤昭会長）所属の水口香代さんが初出場し、見事準優勝の快挙を成し遂げました。

決勝では愛知県の選手と対戦し、1セット目を先取したものの続く2・3セットを惜しくも落としてしまいました。

水口さんは週1回の練習の他、剣淵町や旭川市の練習に出向くなど精力的に技術向上に取り組み、その努力が今大会で結実しました。

卓球にあまり詳しくない人には馴染みのない「ラージボール」とは、普通の白い硬式球より直径が4ミリ大きく、オレンジ色の球です。サイズが大きい分空気抵抗も大きくなり、硬式球に比べてラリーのスピードが落ちますが、途中でブレーキがかかるような大きな変化をかけることができ、ラバーも摩擦の大きいものが使われています。

水口さんは、「今回は初めてでわからないこともあったが、来年はBクラス優勝をめざしてがんばりたい」と意気込みを語り、この日も練習に打ち込んでいました。



禁煙治療費助成第1号！あなたもぜひ挑戦しませんか？

町立病院で実施している禁煙治療に挑戦していた松本実さん（字三笠）が、数週間に及ぶ治療を終え、無事修了証を手に入れました。

町では今年度から、町立和寒病院で禁煙外来を受診して修了証を受けられた方に、その治療費用の1/2（上限1万円）を助成する制度を始め、松本さんはその第1号になりました。

禁煙の効果は、仮に長年喫煙していても一定期間禁煙期間が続くことで、肺がん等の死亡率が非喫煙者と同じくらいに下がる。あるいは慢性閉塞性肺疾患（COPD）の場合は、禁煙が早ければ早いほど病気の進行を遅らせるといった事実が確認されています。

喫煙している方の健康以外にも、近くにいるご家族等を受動喫煙（喫煙によるタバコの煙を周囲の非喫煙者が吸い込むことで健康被害を受ける）から守ることも大切です。町では受動喫煙を防止するため、平成26年6月に基本指針を策定し、公共施設での禁煙や分煙対策を講じています。

家族の勧めで禁煙に踏み切ったという松本さんですが、「おそらくもう二度と吸わないと思います」と、決意を新たにされていました。



禁煙に成功し、笑顔で修了証を受け取った松本さん